

2024年度の取組み

全国ネットワークに入会して、就労支援部会・自立就労委員会の活動をとともに進めましょう

当委員会の活動も2年目に入りました。今年度も、オンライン形式の活動を予定しております。テーマは、日々取り組む就労の相談支援について、さまざまな角度から下表の内容で意見交換と交流を進めたいと思います。

全国ネットワークに入会いただくと、自立就労委員会への参加方法など詳しい案内をお送りします。多くの皆さんの参加をお待ちしています。就労支援部会については、全国ネットHPの「入会案内」にある案内チラシをご覧ください。 <https://life-poor-support-japan.net/>

オンライン版・自立就労委員会の予定 ～意見交換と交流～

第1回 9月3日 午後5時～ 6時20分	就労支援型無料職業紹介をめぐって	「無料職業紹介の活用」は今後、どのような展開になるのだろうか？「就労支援型職業紹介」と、ハローワーク等の一般的な職業紹介との違いや課題を整理しながら、意見交換します。事前に「就労支援型職業紹介」資料を送りますので、意見質問等を募集します
第2回 9月27日 午後5時～ 6時20分	ドイツの就労支援施策から学ぶ	ドイツの長期失業者等に対する就労支援施策の変遷と現状について、法政大学の布川日佐史先生に報告いただきます。ドイツの事情や施策と対比して、私たちの立ち位置を再確認してみたいと思います。
第3回 10月25日 午後5時～ 6時20分	生活困窮者支援制度と生活保護制度	改めて両制度の関係を考えてみます。前回に続き、布川先生から大原社会問題研究所共同研究プロジェクトの成果をもとに報告いただき、要保護状態の相談者、要保護状態に陥る危険のある相談者にどのような支援を提供できるのか？意見交換してみます。また大阪公立大学客員研究員の仲野浩司郎さん(羽曳野市職員)から実践的な話題を提供していただきます
第4回 11月28日 午後5時～ 6時20分	労働施策(ハローワーク等)との連携を振り返る…	労働施策の活用の全体像を見渡してみます。職業安定局の「A表による個別支援」、「特開金」の活用や、人材開発統括官の求職者支援訓練等の職業訓練、JobTag(ジョブタグ)による職業適性検査(GATB、Gテスト、OHBYカードほか)など、労働施策による支援策を整理しながら、活用状況や改善策を交流します
第5回 1月7日 午後5時～ 6時20分	企業等との関係づくり(続編)	企業・働く場との関係づくりについて、(1)就労支援の現場から企業(働く場)へどのようにアプローチすればいいのか？(具体的な実践論) (2)企業(働く場)のニーズは何か？(採用から配置、定着、環境整備にいたる企業の人事管理を見渡す) (3)企業・働く場との関係の具体的内容…？ (4)自治体内外での関係づくり策は…？など、広く議論してみます